



ゆりのき

No.19



JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も[公式 HP](#)で閲覧できます



第20回子育てサイエンス・カフェ報告（9月21日実施）

「その子ども服、大丈夫？ —子どもの安全を守る衣服のかたち—」



衣生活の充実に伴い、私たちはデザイン性や経済性に優れた衣服を容易に購入できるようになりました。その一方で、衣服のデザインを要因とした子どもの危害やヒヤリ・ハットの事例が複数、報告されています。そこで今回は、子ども服の安全基準の現状を理解するとともに、安全な衣服のかたちやサイズについて考えることとしました。

設計)に関しては、アパレル関連団体らによるガイドラインや JIS L 4129 の附属書にて、安全確保のための設計指針が示されているものの、規格化には至っていません。しかし、衣服は用途により要求される機能が異なり、デザインも多岐に渡るため、統一した規格を設けることは困難です。そのため、衣服の製造業者や消費者は、衣服に潜む危険因子を理解した上で、衣服を設計・選択することが重要です。

子ども服の安全性に関する調査・研究

衣服のデザインに潜む危険因子を捉えるために、私たちは子ども服のデザインと安全性に関する調査を行っています。スカートが幼児の階段昇降動作へ与える影響を検討したところ、ギャザー分量の多いスカートでは、階段昇降時にスカートによって足元が見えない時間の割合が増加しました。衣服のゆとり量は、動作性の向上に寄与する一方で、過剰なスカートのゆとりは、足元の視界を悪くするだけでなく、裾を踏みつける可能性も高まるため、幼児の体型、衣服の機能性、危険性を考慮した設計が重要です。

子ども用衣料品による事故と安全対策の現状

2015年に東京都が公表した生活用品による乳幼児のヒヤリ・ハット調査によると、生活用品による危害やヒヤリ・ハットの経験があると回答したもののうち、約25%は、衣類、アクセサリ等による事故であったと報告されています。衣服のデザインを要因とした事故例としては、遊具等への衣服のフード、ひもの引っ掛かり、スポンの裾やひもの踏みつけ、ファスナーによる皮膚の挟み込みなどが主なものです。

国内における安全対策として、2015年に「子ども用衣料の安全性—子ども用衣類に附属するひもの要求事項（JIS L 4129）」が制定されました。本規格は、諸外国における子ども服の安全基準を踏まえた内容となっています。しかし、諸外国では法律を引用した強制規格であるのに対し、JIS規格は任意規格であるため、規格の普及が十分でないことが懸念されます。また、衣服のデザイン（フード、上着、スカート、スポン等の

最後に

子どもにとって快適で安全な衣服を設計するためには、着用者である子どもの人体寸法や形状に関する情報が必要です。しかし、乳幼児や少年少女を対象とした詳細な人体計測は約30~40年間、実施されていません。このような背景から、2023年度より女兒の体格調査を開始しました。本調査には、附属小・中学校の生徒の方々にも多くご協力いただき、心より感謝申し上げます。



子どもの安全は、被服だけでは守ることはできません。心身の発達に伴う行動特徴の理解、生活環境における整備なども重要です。様々な分野の方々との協力して、子ども服の安全性を検討したいと考えています。

(家政学部被服学科 講師 武本歩未)



次回の子育てサイエンス・カフェは！



第 21 回 子育てサイエンス・カフェ

赤ちゃんから学童期まで、楽しい冬休みを迎えるための



子どものまわりは危険でいっぱい

—子どもたちを守るための傾向と対策—

講師

日本女子大学家政学部児童学科 教授 平田 倫生

小児科医、新生児科医としての視点を生かして、小児保健、多職種協働、乳幼児の事故予防などについて幅広く学生への教育と研究活動を行っている。

日時

2024年 12/21(土)

10:30~12:00

Zoom によるオンライン開催となります。
ご自宅からお気軽にご参加ください。

申込み

QRコード または URL からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/b248dZ04AX>

お申込み受付後、Zoom 詳細情報をメールにて
お送りいたします。

▼申込み



私たちのまわりには、誤飲や交通事故、感染症など、いろいろなところに子どもたちの安全を脅かす危険が潜んでいます。ひとたび事故が起きれば、子どもの健康な未来を損ねるかもしれません。そのため、私たち大人の普段気の付きにくいポイントに隠れている危険に対し、つねに十分な対策を練っておく必要があります。

これからやってくる冬休みを楽しく過ごせるように、子どもの目線に立って、私たちは子どもの安全のためにどんなことができるのか、その傾向と対策を考えてみましょう。

学内クリスマスイベントのお知らせ

日本女子大学社会連携教育センター・

日本女子大学社会福祉学科地域福祉ゼミ共催

サンタの学校へようこそ

～日本女子大学での多世代交流！～

申込み
受付中
先着 40 名

日本女子大学社会福祉学科地域福祉ゼミでは、世代、国籍、障害の有無などを超えて誰もが集い、交流できることを目指して、毎年クリスマスイベントを企画しています。

第 4 回目となる今年度は、参加者の皆さんがサンタクロースとなって大切な人にプレゼントを届けられるように、サンタの学校で体育や図工などの授業に参加してもらうというコンセプトで実施します。

小さなお子様からご高齢の方まで、皆で楽しんで交流できるよう準備を進めています。どなたでもお気軽にご参加ください！

お申込み、イベント詳細は
公式 HP をご確認ください ▶



がっこう
**サンタの学校へ
ようこそ**

日本女子大学での
多世代交流！

プレゼントを届ける
サンタクロースとしてサンタの学校を卒業しよう！

体育の時間 → チーム対抗ポッチャ	ホームルームの時間 → ミニゲームで交流！	図工の時間 → クリスマス オーナメントを作ろう
----------------------	--------------------------	--------------------------------

誰でも気軽に
参加するのじゃ

対象 ・小学生以下のお子様と保護者様
・近隣にお住まいの方(先着40名様)

日時 2024年12月7日(土)
13:30~15:30 (13:15~受付開始)

場所 日本女子大学 百二十年館 地下1階
JWUラーニング・commonsかえで

参加無料！

申込みはこちらから →

主催 日本女子大学社会連携教育センター
日本女子大学社会福祉学科地域福祉ゼミ

日本女子大学
社会福祉学科



板橋区立中央図書館にて「歌ってあそぼう！わらべ歌」を実施 - 『POLPA』わらべ歌収集プロジェクト -

(家政学部児童学科 教授 根津 知佳子)

本学と包括連携協定を締結している板橋区教育委員会との連携事業として、板橋区立中央図書館にて「歌ってあそぼう！わらべ歌」をこれまでに計5回開催しました。この活動は、板橋区立中央図書館の姉妹図書館であるイタリアポーニヤ市立サラボルサ児童図書館の「POLPA（ポルパ）」という「わらべ歌の収集プロジェクト」との連携事業として位置づけられています。



スタート当時（2023年2月）は、サラボルサ児童図書館のアーカイブに掲載するための「わらべ歌収集」に力点を置いていましたが、週末の図書館における活動を重ねていくうちに、この活動自体が「参加する子ども達同士の交流の場」となり「文化伝承の場」としての機能をもつように変容しています。例えば、第5回（2024年10月）では、『十五夜さんのおもちつき』を始める前に、公園の芝生の上で本物の臼と杵を用いて「餅つき」の動作を確認してから、手遊びをしました。残念ながら布をお餅に見立てたものでしたが、参加した子ども達は、餅つきの動作や合いの手のリズムを楽しんでいました。図書館を利用されている年配の方から「あら、なつかしい」という声をかけていただいたり、公園で遊んでいる子ども達が初めて見る餅つきの道具に興味を持ったりと、活動を見守っていただいている図書館の利用者の方々の間接的な参加も増えています。



『たけのこ一本くださいな』という鬼遊びは、竹の子（子ども）を引っ張るという簡単な構造ですが、子ども達にとっては「引っ張る＝引っ張られる」という全身を介した遊びが難しいことも分かりました。外遊びや身体性を帯びたあそびの体験が少ない現代的な課題が照射されたことになります。世代を越えて伝わっている「わらべうた」も、現代の子ども達によって「変形」しているものもあります。また、子ども達の好きな遊びの特徴である「スピード」「わざ」を、スタッフや保護者の方々が習う場面も増えてきました。そのような意味で「異文化の交流の場」になっているとも言えるのではないのでしょうか。



現在、31件のあそび歌がサラボルサ児童図書館のアーカイブで公開されています。2025年7月には、中央図書館とサラボルサ児童図書館をオンラインでつなぎ、七夕の文化交流を行う予定です。音楽や遊びを通して、子ども達の世界のいろいろな「扉」が開き、そこで生まれた「つながり」が広がり、深まることを願っています。

サラボルサ児童図書館「POLPA」プロジェクト

(イタリア語)

『RimPOLPA Itabashi』にわらべ歌の音源を掲載しています。



板橋区立中央図書館



ポーニヤ絵本館



お知らせ



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

心理相談室のご案内



日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。
たとえば…



- 子どもの発達や成長が気になる
- 不登校、集団になじめない
- 子育ての悩み
- 対人関係、親子関係
- 気持ちを整理したい
- 自分の性格、将来・生き方
- 自分を見つめたい など

相談は完全予約制です。お電話でお申込みください。

日本女子大学 心理相談室 03-5810-1507 (直通)

受付: 月曜～土曜 9時～17時

日本女子大学 心理相談室



ラボ協力会員

募集中！！

お子様と大学の研究に
参加しませんか？

日本女子大学「JWU 子育てサイエンス・ラボ」では、子どもの発達（例：ことば、コミュニケーション、見る力の獲得）や子育てについて、種々の学術調査を行っています。

ラボ協力会員に登録して、お子様と一緒に、本学の研究に参加しませんか？

(調査ごとに、ご登録者の中から年齢等の調査条件に合う方にご連絡します。調査内容・所要時間・謝金の有無等を担当者が説明し、参加をご了承いただけた場合は、ご都合に合わせて調査スケジュールを調整します。)

「**ラボ協力会員**」詳細、ご登録方法は**こちら**▶
ラボ協力会員募集中→**下スクロール**→「**登録はこちら**」



「JWU 子育てサイエンス・ラボ」を運営する社会連携教育センターの公式 SNS アカウントです。

